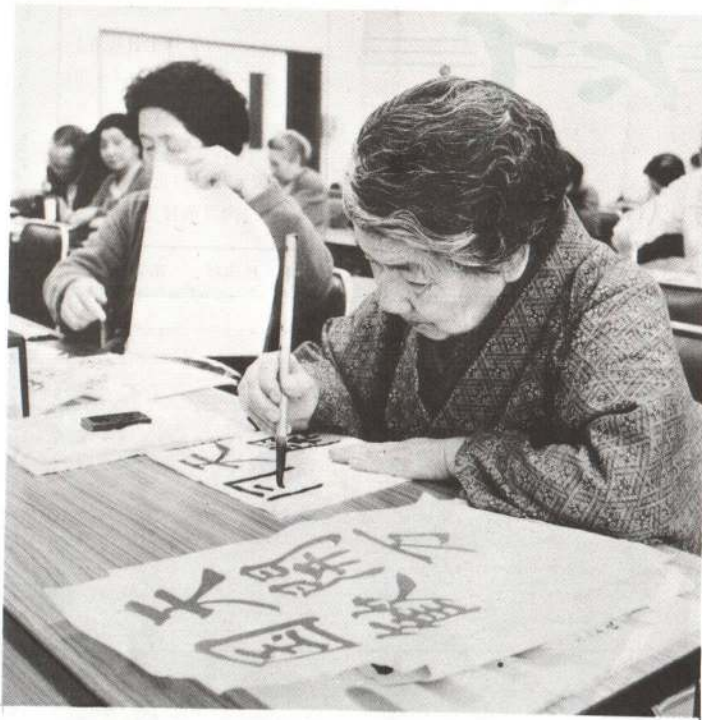


第6回

企業誘致や道路整備に関心が集中

「世論調査」まじまる

市では、市内に住む成人男女千五百四十六人を無作為抽出して「第六回世論調査」を実施しました（回収率は九六・八％）。この調査は、市民の日常生活における生活意識や市政に対しての要望などを知るために実施しているもので、今回は「生活環境」や「高齢化社会」「地域（町内）について」など十四の設問に答えていただきました。この結果は、これからの市政運営のための貴重な資料として活用させていただきます。



よくなりましたか

生活環境

Q1、施設や事業、生活環境などで、この数年間に整備されたりよくなったかと思われれるものは。
(二人五つまで)

- ① ゴミ収集などの環境衛生 45%
 - ② 文化教養施設（市民文化会館、サン・アビリティーズ）などの充実 29%
 - ③ 病気の予防や検診などの保健衛生 29%
 - ④ 学校の建設や施設の整備 28%
 - ⑤ スポーツ、レクリエーション施設の整備 27%
 - ⑥ 除雪 26%
 - ⑦ 道路整備 25%
- 以下「企業誘致」「市民と市長の対話」「公園の整備や自然緑の保全」などとなっています。
Q2、今後さらに、市がぜひ力を入れてほしいと思うものは。
(二人五つまで)
- ① 企業誘致 59%
 - ② 道路整備 41%
 - ③ 物価対策などの消費者保護 29%

〈地区別回収状況〉

地区名	配布数	回収数	回収率	地区名	配布数	回収数	回収率
大館	680	650	95.6%	真中	44	43	97.7%
釈迦内	189	178	94.2	二井田	64	63	98.4
長木	114	112	98.2	十二所	108	106	98.1
上川沿	66	65	98.5	花矢	164	164	100
下川沿	117	115	98.3	計	1,546	1,496	96.8

〈年代別回収数〉

年代	男	女	合計
20代	75	54	129
30代	149	146	295
40代	170	160	330
50代	181	216	397
60代	111	153	264
70歳以上	46	35	81
合計	732	764	1,496

- ④ 老人福祉センター建設や老人の生きがい事業など 27%
 - ⑤ 中小企業の育成 22%
 - ⑥ 交通の便 21%
 - ⑦ 除雪 18%
- 以下、「医療施設の充実」「心身の不自由な人のための施設と事業」「公園の整備や自然、緑の保全」などとなっています。

市長の対話ノート



No.175

誰のための環境か

市立総合病院には、現在伝染病患者用のベットが十ありますが、ほとんど利用されていません。伝染病は、生活環境の悪さにその発生原因がありますから、これは喜ばしいことと言えます。下水道事業が本格的に始まり、これまでのように生活排水などがそのまま河川に入り込むことは抑えられ、環境浄化に果たす役割も大きいと考えています。

六月の第一週は環境週間です。公共事業による環境整備は確実に前進してきましたが、個人の環境に対する意識・マナーはどうでしょうか。毎年「クリーン大館市民会議」の皆さんを中心に、クリアアップ大作戦が展開されていますが、空き缶の投げ捨て、犬や猫の放し飼いやなどは依然として後を絶ちません。

自己中心的な考えで生活環境を省みない人は、自分で自分の首をしめているのに等しいことです。ですから、お互いに注意を喚起し合いたいものです。

伊山健治